



今月の記事

老の棲家

近ごろの愛の園

ユニットケアの壺

リレーエッセイ

5~6月の予定



本部事務局
赤木雅哉

「老の棲家」

『願わくは 花の下にて春死なん その如月の望月のころ』 西行

当時日本人の平均寿命は33歳、これは「生得の歌仙」と呼ばれた西行法師が42歳の時に詠んだ一句です。「もし死期を迎えるのならば、春の陽気に包まれた満開の桜のもとで、満月を眺めながらその時を待ちたい」という意味の歌です。いつの時代でも、人が最後を迎える時にどう在りたいか、というのは大きな問題でした。

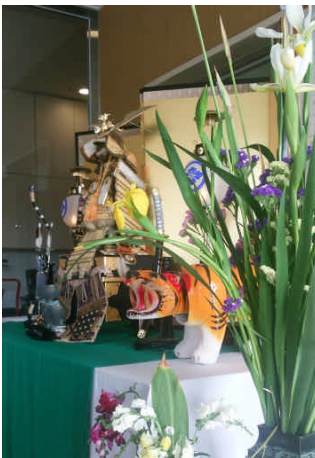
今年の介護保険制度改正における「地域包括ケアシステムの推進」について、厚生労働省は「国民一人一人が、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるようにしていくためには（中略）本人の希望する場所での、その状態に応じた医療・介護と看取りの実施・・・」と位置付けています。このケアシステムはデンマークの福祉制度変革が参考となっています。誰でも年齢を重ねることで誰かの手助けが必要となった時が来ます。そんな時に介護の提供を専門とす

る大規模な施設での生活を推奨してきた従来の制度を改め、その人が“これまで暮らしてきた生活”にどんなサービスやお手伝いがあれば、「一人一人の希望に沿った生活を続けられるか」という考え方です。

神愛会では、「どうすれば皆さんの生活が最後まで豊かでいられるか」という課題に取り組んで来ました。誰もが年齢を重ねる事で「諦めてしまう事」や「手放してしまう物」はある事と思いません。しかし「こういう体になったから、こういう生活が必要」ではなくて、「こういう体になっても、この生活を続ける」ことを選んでいただける、そんな事業を目指していかなければと思います。

ちなみに、この西行法師、69歳という平均年齢の倍以上になってから、人生3度目の奥州行脚に出立します。何歳になっても自分の理想を追求できる人間の強さに感服です。

『年長けて また越ゆべしと思いきや 命なりけり 小夜の中山』 西行



鎧兜に太刀と弓矢。張子の虎と菖蒲も揃った節句の飾りが玄関を飾っています。

近ごろの愛の園 あんなこと、こんなこと



すっかり暖かくなって外出が楽しい季節になりました。8ユニットの皆さんは近所のスーパーにお買い物に。お菓子のコーナーでピースサイン！ 4/15



愛の園の集いで一番長く続いているマリア会は毎月2回開催します。お祈り、聖書のお話し、歌とおしゃべりの1時間を園長が担当しています。 4/24



月・水・金曜日にユニットを訪問して下さる喫茶ボランティアの皆さん。土曜日は1階ホールが喫茶コーナーとなり賑やかです。ぜひお出かけください。 5/5



2階エレベータホールでは午前中にグループでの機能訓練が行われます。体操や歌唱には愛の園後援会寄贈の音楽療法カラオケが大活躍です。 5/7



ユニットケアの壺 II (3) 「プライベートとパブリック」



不在者投票も1階ホールで 4/27

10人ずつのユニットで生活する愛の園では、完全なプライベートスペースとして個室が用意されています。好きな家具や家電品、壁面の飾りなどを自由に整えて、1人で或いはご家族とゆっくり過ごすことができます。ご要望があればお部屋やチェストの鍵を使っていたりすることもできプライバシーを保つことができます。

10人の入居者が共同で使う場所はリビングと呼びセミプライベートスペースとなります。ご家庭の居間、食堂、台所の機能を持ち、主として寛ぐところ、食事をするところですが、一堂に集まることを過剰に求めることはありません。全員で一つのテーブルを囲んで誕生日を祝うこともあります。日頃は小さなテーブルに分かれ、緩やかな共同性が育まれることを目指しています。椅子やテーブルを置いたユニット内の

廊下や小さなコーナー、プランターで花を育てるバルコニーなども大切なセミプライベートスペースとなります。

やまびこ会や機能訓練を行う2階のエレベータホール、土曜日の喫茶コーナーやマリア会などを行う1階のホール、また日曜日の礼拝堂などはユニットを超えて暮らしを営むセミパブリックスペースです。愛の園で生活する方々の趣味や娯楽、心地よく体を動かすことなど、少し社会性の高い日常生活がここにありま

す。これらの場所は地域から訪問くださる方々と交わる際には、パブリックスペースともなります。本来は地域にある資源がパブリックスペースといわれるのですが、入居者の心身の負担も配慮して、施設の中に地域を迎えることも大切なこと、と考えています。

設備主任
小倉直樹

リレーエッセイ(66) 「踏ん張りどころ」



愛の園で働かせていただいて20年目を迎え、現在の施設も移転して12年目、振り返れば月日の経つのが早すぎる様に感じます。私の二人の息子も成人を越え、子育てが終わりやっと落ち着けるなと思っていましたが、昨年の夏頃から、高齢の父親の状態が認知症かな？と思うような行動・会話が始まり、その後少しずつ進行し、長年専業農家を続けて来ましたが限界の状態を迎えました。梅畑・水田と小規模で作物作りを、とりあえず長男である私が母親の指示の下で休日を利用して農作業をして

おります。今までは手伝いの応援でしたが、父親が1年かけていた仕事を休日だけでこなすのは大変で、南高梅(選定、肥料まき、消毒、草刈、収

穫)・米(トラクターでの耕し、肥料まき、水あて、消毒、草刈、収穫)とたくさんの作業があり、手探り状態なので不安はありますがなんとか今に至っております。

今後、愛の園に勤めさせていただきながらの兼業農家は、収入・体力面を考えると、とても両立は不可能で頭を抱えています。

ご先祖様から受け継いで来ている農地を、自分の代で手放すことは心苦しいですが、息子の代のことを考えても、今、決断しなければいけないと考えております。人生山あり谷ありではありますが、ポジティブにいかねればと心がけています。

今回は、1ユニットリーダーの橋本通代さん

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

Facebookもチェック 

<https://www.facebook.com/shinaiikai>

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

5～6月の愛の園

- 11(金) 福祉ネイル
- 12(土) ウエスタンリーグ野球観戦
- 13(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 14(月) ヨガ教室
- 15(火) マリア会
- 17(木) やまびこ会
- 20(日) 礼拝(聖餐式)
- 21(月) ヨガ教室 マッサージ
- 22(火) 岩田幼稚園花の日来園
- 23(水) 歯科診療
- 24(木) やまびこ会
- 25(金) 福祉ネイル
- 27(日) 礼拝(聖霊降臨日聖餐式)
- 28(月) ヨガ教室

- 1(木) やまびこ会
- 4(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 5(月) ヨガ教室

編集者から

上富田町議会議員選挙の投票について入居者の方々に事前に意思確認を行い、投票用紙を取り寄せ、家族の会の滝本秀暉会長の立ち会いのもとで4月28日に地域交流スペースにて21名の入居者の方々が不在者投票を行いました。

誰に投票するか事前に決めておられる方、立候補者の氏名等をお伝えしてもなかなか決めることができず、「誰に投票したらいいん？」と聞かれることもありましたが、ご自身の意思で投票していただき、無事に終えることができました。

選挙の度に思うことですが、投票補助者の一人として立候補されている方々のことをわかりやすくお伝えし、貴重な一票を投票していただけるよう心掛けたいと思います。(1)